

XⅢ. 歯学部附属歯科衛生士専門学校

1. 教育理念・目標

歯学部附属歯科衛生士専門学校 教育理念
本学および歯学部の教育理念を遵守し、地域社会における歯科医療と歯科保健活動ならびに口腔衛生の向上に努め、人々の幸福に貢献することを教育の理念とする。
歯学部附属歯科衛生士専門学校 教育目標
1. 歯科衛生士に必要な知識・技能および科学的な思考力を修得し、これらを統合した実践力を養う。 2. 高い使命感と倫理観を持った人間性豊かな医療人を育成する。 3. チーム医療に貢献できるコミュニケーション能力や実践力を養成する。 4. 口腔保健の専門家として自らを発展させる向上心や研究心を養う。

① 歯科衛生士に必要な基本的な知識と技能を修得する。

歯科医療の進歩と多様化に伴い、歯科衛生士の資質の向上が求められている。高度化する歯科医療に対応できる知識と技能を修得する。

② 歯科衛生士としての倫理観と使命感を育成する。

患者の立場になって考えることができる高い倫理観と使命感を身につけた人間性豊かな歯科衛生士を養成する。

③ コミュニケーション能力と実践力を身につける。

これからの歯科医療にはチーム医療や多職種連携が重要である。協調的に行動でき柔軟な思考力と実践力を有する歯科衛生士を育成する。

④ 向上心と研究心を養う。

医療の進歩に対応するための学習と努力を継続し、自らを高めることのできる歯科衛生士を養成する。

2. 教育運営組織(教員、教員研究活動)

(1) 教員数

区分	専任教員	非常勤講師等	兼任講師
人数	5	3	116



(2) 専任教員一覧

職名	氏名
歯科衛生士専門学校長	齊藤 正人
専任教員	教務主任 岡橋 智恵 大山 静江、千葉 利代、山形 摩紗、秋元 奈美



(3) 専任教員の研究活動

学会名・研究会名等	課題名等	発表年月	発表者
第 29 回日本老年歯科医学会・学術大会	服薬管理が困難な認知症高齢者に対する歯科訪問診療が多職種協働によって可能となった1症例	2018 年 6 月	末永智美 吉野夕香 金本 路 堀内優香 今井哲郎 植木沢美 川上智史 會田英紀 平井敏博
	緩和ケア病棟への入院希望の高齢舌癌患者に対して MSW が自己決定を支援した一例		吉野夕香 末永智美 金本 路 植木沢美 川上智史 會田英紀 平井敏博
第 37 回日本歯科医学教育学会	多職種連携教育に有効な義歯ケア実習教材の提案	2018 年 7 月	川西克弥 會田英紀 岡橋智恵 白井 要 村田幸枝 長澤敏行 越野 寿
第 11 回北海道歯科衛生士学術大会	道内歯科衛生士養成校における研修会4年間の取組みとその実践について	2018 年 10 月	千葉佳鈴 渡邊恵理 岡橋智恵 市川智恵 松下寿美子 藤岡郁子 藤澤雅子 門脇ひとみ 瀧井百合子 武田妙子 嶋倉梨花 中村麻希 稲垣友梨奈

3. 教育内容(カリキュラム、教育システム)

本校は、道内では唯一、全国にも 8 校しかない大学の歯学部附属の歯科衛生士専門学校である。歯学部の施設や設備を活用し、基礎から臨床にいたるまで質の高い教育内容で、これからの新しい時代の「歯科医療」を支えるスペシャリストを育成している。

法改正(2005.4.1 施行)により、歯科衛生士学校養成所の修業年限が 3 年に変更となったことから、本校も 2010 年 4 月に 3 年制に移行した。2012 年度には 3 年制課程の完成年次を迎え、移行後、初の卒業生を輩出した。

なお、基礎科目分野、専門基礎科目分野および選択必修科目分野の科目数並びに授業時間数の適正化と教育内容の更なる充実を図るため、2013 年 4 月に大幅なカリキュラムの改訂を行い、2015 年度から全学年が新カリキュラムを履修している。

(1) カリキュラム編成

人間形成を主軸とした教育展開を図りながら、人々の口腔の健康を守る担い手としての役割と責務を迫及し、人間性豊かな職業人として時代の流れに即応するとともに社会のニーズに応じた実践と援助が出来る歯科衛生士を育成できるよう、カリキュラム編成をしている。

- ① 時代に即応した授業となるよう、常に教育内容の見直しを行っている。
- ② 科目は、基礎科目、専門基礎科目、専門科目、選択必修科目の 4 つの区分で構成されている。
- ③ 北海道医療大学の学生と一緒に学ぶ共通講義を第1学年前期に実施している。
- ④ 臨床実習を重視し、その時間数はカリキュラム全体の約 4 割近くを占めている。
- ⑤ 臨床実習では、北海道医療大学病院のほか老人施設や総合病院歯科でも実習を行っている。
- ⑥ 歯科衛生士国家試験に対応したカリキュラムを編成している。



(2) 教育システム

① 大学のスタッフ、施設による教育

・ 専任教員と大学の教授陣による高度な講義と実習

授業は、専任教員のほか、北海道医療大学の教授陣が数多く担当しているほか、医療分野及び各界で活躍している著名な講師陣を招く等、質の高い講義・実習を行っている。

・ 快適な勉学環境と充実した施設・設備

本校では、同じキャンパス内にある大学の最新設備等の教育環境を十二分に活用している。また、薬剤師、看護師等の様々な職種 of 医療従事者と身近に接する機会も多く、医療に対する広範な視野からの思考を育成している。

② 総合病院歯科における臨床実習の実施

高齢患者の増加により、全身的な医学管理が必要な患者が増加するとともに、歯科医療に対する患者のニーズが多様化していることから、より幅広い知識と技術を養成するため、総合病院歯科による臨床実習を充実させている。

③ 問題解決型教育の導入

教員と学生相互の対話や質疑応答が活発に行われるよう、事例検討、グループ討論、実技的なものとしてロールプレイング(役割演技実習)等を授業に多く取り入れている。これらは、問題解決能力やいろいろな事態に対する適応能力等を訓練するのに役立っている。

④ シラバス(授業計画)の作成と公表

教員からの一方的な授業ではなく、学生にとって真に価値ある授業が行われるよう、カリキュラムの活性化や学生の自主学習のために授業の細目について点検・評価を行っている。その具体的な方法として 1994 年度からシラバスを作成し、学生に配付するとともに WEB 公表している。このことにより、教育内容をより活性化させ、教育効果を上げることが期待されている。

また、2015 年度から授業科目と教育目標の関係を表として示したカリキュラム・マップや、授業科目間の系統性を図示したカリキュラム・ツリーを作成し、シラバス上で公表している。

⑤ 生涯学習への対応 (歯科衛生士専門学校同窓会セミナーの開講)

進歩が著しい現代の医療現場にあって、第一線で活躍するためには、生涯を通じた新たな知識や技術の学習に努めて行かなければならない。本校は、卒業生をはじめとした歯科医療従事者のための生涯学習の場として、卒業後の教育もシステム化している。「歯科衛生士専門学校同窓会セミナー」の開講は、全国的にも珍しい。

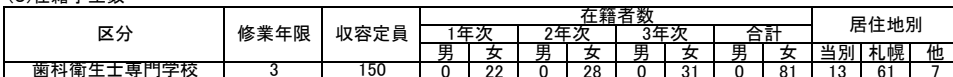


カリキュラム表（歯科衛生科）

分野	授業科目	単位	開講年次・時間数			計
			1 学年	2 学年	3 学年	
基礎分野	化学（堀内）	2	30			30
	生物学（西出）	2	30			30
	英語（塚越）	1	20			20
	英語コミュニケーション（松本）	1	20			20
	健康科学（井上）	2	30			30
	心理学（今井常）	2		30		30
	医療倫理学（磯部）	1		15		15
	基礎科目〔小計〕	11	130	45		175
専門基礎分野	解剖学・口腔解剖学（坂倉）	3	54			54
	組織・発生学（細矢）	2	30			30
	歯の解剖学（入江ほか）	2	30			30
	生理学・口腔生理学（石井ほか）	2	30			30
	口腔機能学（坂倉・石井）	1			15	15
	病理学・口腔病理学（安彦ほか）	2		30		30
	微生物学・口腔微生物学（宮川 ほか）	2	40			40
	薬理学・歯科薬理学（谷村ほか）	2	30			30
	生化学・口腔生化学（尾西）	2	30			30
	栄養学・栄養指導（荒川ほか）	2		40		40
	口腔衛生学（千葉逸ほか）	2	40			40
	衛生・公衆衛生学（千葉逸ほか）	2	30			30
	衛生行政・社会福祉（水谷）	2		30		30
	衛生統計学（千葉逸ほか）	1		15		15
	統合科目Ⅰ（基礎系）	4			120	120
	専門基礎科目〔小計〕	31	314	115	135	564
専門分野	歯科衛生士概論（専任教員）	1	20			20
	歯科臨床概論（古市・斎藤・安彦・越野）	1	15			15
	保存修復学（斎藤ほか）	1	30			30
	歯内療法学（古市ほか）	1	20			20
	歯周治療学（古市ほか）	1	30			30
	可撤性補綴学（越野ほか）	1		20		20
	インプラント・固定性補綴学（越智ほか）	1		30		30
	小児歯科学（斎藤ほか）	1		30		30
	歯科矯正学（飯嶋ほか）	1		30		30
	口腔外科学（村田・奥村）	1		30		30
	高齢者・障害者歯科学（斎藤・會田ほか）	1		30		30
	歯科放射線学（中山ほか）	1		30		30
	医学一般（家子ほか）	1		15		15
	臨床検査法（家子・高橋）	1		15		15
	歯科麻酔学（救急処置・心肺蘇生法）（照光ほか）	1		20		20
	歯科予防処置論Ⅰ（専任教員）	4	120			120
	歯科予防処置論Ⅱ（千葉逸ほか）（専任教員）	2		60		60
	歯科保健指導Ⅰ（専任教員）	3	80			80
	歯科保健指導Ⅱ（専任教員）	2		60		60
	地域保健Ⅰ（専任教員）	3		75		75
	地域保健Ⅱ（専任教員）	3			75	75
	歯科衛生学Ⅰ（専任教員）	1		30		30
	歯科衛生学Ⅱ（専任教員）	1			30	30
	歯科診療補助論Ⅰ（専任教員）	4	120			120
	歯科診療補助論Ⅱ（専任教員）	4		105		105
	歯科材料学（建部二）	1	30			30
	臨床実習Ⅰ	10		450		450
	臨床実習Ⅱ	10			450	450
	統合講義Ⅰ	3			90	90
	統合講義Ⅱ	3			90	90
	統合講義Ⅲ	3			90	90
	統合科目Ⅱ（臨床系）	3			90	90
	専門科目〔小計〕	75	465	1030	915	2410
選択必修分野	個体差健康科学	2	30			30
	言語発達障害学（今井智ほか）	1			15	15
	卒業研究（専任教員）	1			20	20
	介護概論（高橋由・池森）	2	30			30
	医療事務（川上）	1			15	15
	看護概論（山田律ほか）	2		30		30
	人間関係論（長谷川聡）	2		30		30
	情報処理演習（長谷川聡）	1	15			15
	選択必修科目〔小計〕	12	75	60	50	185
合計		129	984	1250	1100	3334

AO方式・推薦・一般前期A・一般前期B・後期入試を実施し、AO方式ではエントリー制を導入、推薦・一般前期A・一般前期Bは全道各会場で実施している。また、2018年度入試より編入学試験を実施。入学試験の状況は、以下のとおりである。

区分		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
合計	志願	57	36	37	35	21
	受験	56	36	37	35	21
	合格	56	36	37	35	21
	入学	50	33	30	33	20
	倍率	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
AO	志願	44	32	27	32	18
	受験	44	32	27	32	18
	合格	44	32	27	32	18
	入学	42	30	25	31	17
	倍率	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
推薦	志願	3	0	1	0	2
	受験	3	0	1	0	2
	合格	3	0	1	0	2
	入学	3	0	1	0	2
	倍率	1.0	—	1.0	—	1.0
一般前期 A	志願	2	0	2	1	0
	受験	2	0	2	1	0
	合格	2	0	2	1	0
	入学	2	0	2	1	0
	倍率	1.0	—	1.0	1.0	—
一般前期 B	志願	2	0	2	1	0
	受験	2	0	2	1	0
	合格	2	0	2	1	0
	入学	0	0	0	0	0
	倍率	1.0	—	1.0	1.0	—
一般後期	志願	6	4	5	1	1
	受験	5	4	5	1	1
	合格	5	4	5	1	1
	入学	3	3	2	1	1
	倍率	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0



5. 卒業生数・国家試験・進路状況

就職状況は、依然厳しい社会状況ではあるが、歯科医療に寄せる期待は強く、歯科衛生士に関わる求人数は、他業種に比較して多い。2018年度は3年制移行後、7回目の卒業生を輩出し、道内外各地の病院・歯科医院に就職している。

(1) 卒業生数

学校	2018年度卒業生 (累積卒業生数)
歯学部附属歯科衛生士専門学校	28 (1,557)

(2) 国家試験

卒業生数 1,557人 合格者 1,556人 合格率 99.7%

卒業期	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期	13期	14期	15期	16期	17期
卒業年	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
卒業生数	15	54	57	56	49	44	47	44	57	52	55	52	56	52	52	43	39
合格率(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
卒業期	18期	19期	20期	21期	22期	23期	24期	25期	26期	27期	28期	29期	30期	31期	32期	33期	
卒業年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	
卒業生数	63	45	58	62	65	60	41	40	56	29	36	26	44	43	37	28	
合格率(%)	100	100	100	100	98.5	100	100	100	100	100	100	100	100	93.0	100	100	

(3) 進路状況

区分	2016年度		2017年度		2018年度	
	求人数	就職・進学数	求人数	就職・進学数	求人数	就職・進学数
札幌市内	141	23	385	23	43	15
道内(札幌市内除く)	156	13	171	12	441	9
北海道外	338	3	157	2	291	3
計	635	39	713	37	775	27



就職先(2018年度)

地域	就職先
札幌市	手稲溪仁会病院
	おひげの先生歯科クリニック
	かわむら歯科クリニック
	コア歯科クリニック
	しのぐちこども歯科・きょうせい歯科
	スマイルオフィスデンタルクリニック
	ちだ歯科クリニック
	デリック歯科
	ときわプロケア歯科クリニック
	なかむら歯科
	加藤歯科医院
	石川歯科医院

地域	就職先
江別市	野幌歯科クリニック
名寄市	ちば歯科医院
新ひだか町	静内ファミリー歯科
帯広市	くにやす歯科クリニック
帯広市	こにしファミリー歯科クリニック
帯広市	つがやす歯科医院
釧路市	あかつき総合歯科
東京都	おだ歯科クリニック
東京都	行智会
千葉県	西馬橋歯科クリニック

6. 学生納付金、奨学金

本校は、大学を母体とした専門学校であり、教育内容の高度化とともに施設設備の充実を図っている。
また、学園独自の奨学金制度により、人物・学業ともに優秀で、経済的理由により修学困難な学生の援助を実施している。

(1) 学生納付金

区分	初年度納付金	納付金総額(卒業迄)
本校	850,000	2,150,000
他校平均	947,000	2,396,000
対平均(%)	▲10.2	▲10.3

除:教科書・器材等の経費及び学友会費等の諸会費
他校平均＝道内私立3年制学校の平均

(2) 奨学金(2018年度実績)

○ 本学奨学事業

区分	1人当たり	人数	金額計
貸与 一般奨学生	330,000 円	0	0円
合計	-	0	0円

○ 日本学生支援機構奨学金

内容等	人数	金額(月額)
第一種	17	30,000円、53,000円、 60,000円(自宅外通学者のみ)
第二種	37	30,000円～120,000円

7. 管理運営(教員会、委員会)

本校の教育及び管理運営に関する事項は、学校法人諸規程に基づき、各会議における審議により、校長の下で決定、執行している。

(1) 管理運営

① 教員会

本校の運営に当たって「教員会」を必要に応じて開催している。

構成員 12名:校長、歯学部長、歯科クリニック院長、兼任講師若干名、専任教員

② 各種委員会活動

本校を含む学園全体の各種委員会のうち、全学FD委員会、メディア委員会、広報企画委員会、キャンパス・ハラスメント防止対策委員会、保健センター運営委員会、新入生オリエンテーション実行委員会、全学教員評価委員会、衛生推進担当者等連絡会、地域包括ケアセンター運営委員会の9部門の委員会の構成員として教員を選出している。

8. 施設設備

本校は、大学の当別キャンパスにあり、歯学部附属の専門学校としての利点を大いに有効利用し、歯学部の大規模な施設設備を活用した最新の歯科衛生士教育を行っている。

5階建の建物のうち、校舎として、1・2・4階の3フロアを使用し、3年制学科に対応した必要施設設備を整備している。校舎は、北海道医療大学歯学部、歯科クリニック、総合図書館と連結し、自由に往来可能である。

階別	室名	面積(m ²)
1階	管理棟 歯科衛生科 教室・設備機械室 教員室・ロッカー室 等	480. ⁰⁰
2階	歯科衛生科 教室・実習室・ロッカー室 実習準備室・学生控室 等	480. ⁰⁰
4階	歯科衛生科 教室・ロッカー室	124. ⁵²
合計		1,084. ⁵²